

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	さくら伊伝居の独自の理念は、早くから作成し朝の申し送りで職員は唱和しているが、それでは理念に向けての実践となると少し弱く、利用者や家族にも知名度は低い。	利用者・家族・地域の方々に理念を知って頂き、それに基づいたケアや業務をしていることを理解して頂く。職員には、介護を考える上で土台となっていることを把握してもらい、良いケアに繋げてもらう。	利用者・家族・地域の方々には、行事や推進会議等で行事内容や議題の中で、落とし込み理解して頂くことに取り組みます。職員には、フロア会議や申し送り・研修等で理念がなぜ大事なのか・ケアの土台となっていることを繰り返し伝えることで理解してもらう。	12ヶ月
2	6	オープンから現在まで、バタバタと忙しく玄関の開錠に向けての取り組みは、理解しているが安全性重視のため、できないままになっていた。	常時の開錠は、安全面で難しいので、時間を決めて開錠していく。	最初は、短時間から開錠時間を決め行い、徐々に時間を延ばしていきます。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期に対し、医療行為がなく、当施設で看取りが可能な方は支援していく方針だが、施設が新しいため、現在はまだ看取りの方がなく、実際に向けてスムーズに行えるか心配。	これから看取りがスムーズに行えるように、職員全体に伝えたい。	看取りになっていく状態や判断、どんな書類が必要か、又看取りになればどのようなことをするのか、特変時はどうしたらいいのか等様々なことを考えていかなければならないので、看護師を中心に研修を行います。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。